ゲジの歩行活動リズム

田中一裕（宮城学院女子大学）

これまでの研究から、ゲジ*Thereuonema tuberculata*は夜間に活発に活動することが知られているが、その概日リズムの特性についてはまだよくわかっていない。本種の歩行活動リズムに関する基本的な情報を得るために、野外から採集した4個体を一定温度（25℃）・明暗サイクル下および全暗条件下で飼育し、歩行活動を記録した。明暗サイクル下では、いずれの個体も暗期に活発に活動した。この結果は先行研究の結果と一致するものである。歩行活動のリズム特性を明らかにするために、本種を明暗サイクル下に10日間置いたのち、全暗条件に移して歩行活動を記録した。全暗条件下でも歩行活動には明瞭なリズムがみられた。ただし、活動の開始時刻や終了時刻は日ごとに遅くなった。このことは本種の活動開始や終了のタイミングは概日時計の支配を受けていること、その概日時計の固有周期は24時間よりも長いことを意味している。